



いずみ野

令和2年7月31日

校長 齋藤 敦子

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izumino/>

学校教育目標 「自分が好き 友達が好き 学校が好き このまちが好き」
～心豊かに学び合い、ともによりよく生きようとする子～

新しい夏 伸びようとする いずみ野の子

校長 齋藤 敦子

7月1日（水）の朝、「今日から給食！楽しみ！」と元気いっぱいの1年生の声でした。分散登校の第一期、全員登校の第二期、給食がスタートした第三期、「子どもたちを第一に」を合言葉に、コロナ禍の中ここまで乗り越えてこられたのは保護者の皆様、学援隊・PSI・学び隊支援の皆様・サポーターズ・田んぼでGO・図書ボランティア・地域の皆様が学校を応援してくださったお陰と感謝しております。また、いずみ野地域ケアプラザの皆様にもエールをいただきました。いずみ野小学校の子どもたちがこんなにも皆様に愛されて育てていることを、改めて感じる期間でした。

第三期の子どもたちの様子です。朝の会の全員スピーチの場面では堂々と話す友だちに次々と質問して、皆の笑顔が増えていく4・5組。

「どうして〇〇なの？」と学校生活の中で疑問の声が多くなってきた1年生。どんな学年・学級にしたいのか、一人ひとりが納得するまで1年生が育てた立派なアサガオを考えて、皆で目標を決めた2年生。初めての理科の学習では毎日欠かさず花に水をあげ、植物の生長を実感しながら命を大切にする3年生。社会科では初めての新聞づくりにチャレンジ！5年生の新聞をお手本に何度も見ながら、



1年生が育てた立派なアサガオ

文字の大きさやイラストを工夫して見やすい神奈川県新聞を完成した4年生。算数科ではめあてやまとめを担当と一緒に考え、思考力を高めながら主体的に取り組む5年生。学校のリーダーを意識した何気ない会釈やコロナ禍での新しいルールをしっかりと守り、下学年のお手本となって行動する6年生。この2か月の間、子どもたち一人ひとりがんばり、成長し、確実にさまざまな力を伸ばしてきました。



指より小さい

さて、何の卵でしょう？
めながら主体的に取り組む5年生。学校のリーダーを意識した何気ない会釈やコロナ禍での新しいルールをしっかりと守り、下学年のお手本となって行動する6年生。この2か月の間、子どもたち一人ひとりがんばり、成長し、確実にさまざまな力を伸ばしてきました。



手洗いのよさを学ぶ6年生（家庭科）

そこで、夏休みを事故なく、けがなく、病気なく元気に過ごすことができるように、朝会で次のような話をしました。

【な】夏となかよし 暑さに負けず
【つ】ついて行かない 知らない人に
【や】野菜を食べて 元気な体
【す】水分とって 熱中症予防
【み】密を避けて 安全に

【い】いろいろな人・物・ことにふれあい
【ず】ずっと なかよく
【み】みんなと あいさつ
【の】伸びようとする いずみ野の子

今年は2週間という短い夏休みですが、8月17日（月）に再会するまで、ご家庭におかれましても健康に留意され、子どもたちにとって心に残る夏休みとなるよう願っております。